

一般質問 木村 聖子 議員

私道除雪の拡充の検討はできないか

町長 経費高騰があれば補助額を検討したい



問

豪雪地帯の本町は、日々の除雪作業や除雪の費用が町民にとって重い負担となっている。次の点について考えを伺う。

① 通学時間帯に路線除雪時間帯が重なる地域があるが、安全配慮のため時間が重複しないように配慮ができないか。

② 空いている町有地、公園とか雑地などに町内会単位で、間口に置かれた雪を空き地を利用して捨てることや、そこに溜まった雪の排雪費用の助成などができないか。

③ 私道の除雪費について拡充を希望している声があるがいかがか。

町長

① 昨年は、通学時間帯と重複することが7回あった。受託業者と調整し、子どもたちの通学に危険が及ぶような場合は、誘導員をつけて作業するなど、安全な通行を確保する対応をしていきたい。



問

② 近年は町内にも多くのアパート等が建設され、空き地が減少しているため排雪回数が増えている。個人宅の雪処理は、原則敷地内での処理をお願いしており、今後も遵守していただきたい。

③ 年々燃料や人件費がアップしている中で補助を上げてほしいということかと思うので、実態も踏まえ、補助額については見合うように今後も状況をみていきたい。

問

私道除雪補助予算は1700万円満額支出していると思う。私道除雪の対象路線が増えているのか。

特にひらふ地域は、開発行為が進んでおり、私道として開発をした後に町道認定を要望するケースが最近はあるのか。このようなケースの場合は、町の負担も増えるので、開発行為との絡みも含めて、考えがあれば伺う。

豪雪対策室長

リゾート地区は近年、居住が少なくなってきた宿泊施設になっている実態がある。申請がないので除雪路線としては減少傾向。

また、除雪費用がいつも同じにもかかわらず補助金が減ることがある。定額払いか出来高払いにより変わり、出来高払いは雪が多いと費用が膨らみ、定額払いの方の補助金が減ることがあるので実態を調査し、補助金の交付について検討する。

子育て支援の行方

問

新たな保育システムに不便を感じている保護者が多い。今後の見解は。

① 全園における土曜保育実施の見通し。
② 全園にかかる実費平準化の見通し。
③ 兄弟が分かれる世帯の送迎バス利用の見通し。
④ ぬくぬくの0歳児から2歳児の待機児童解消の見通し。
⑤ ファミリーサポート事業実施の見通し。
⑥ 新システム移行による経費縮減を1600万円見込んでいると当初説明資料にあったが、経費縮減額に変わりはないか。

町長

① 認定こども園と対策を講じ、実施に向けて努力していく。

② 各認定こども園の教育方針や行事の違いもあり時間を要する。

③ 費用や人員確保の点から現状維持としたい。

④ 0歳児の急激な需要の増加によりすぐには有効な対応策を打ち出すことは難しい。次年度より定員数の確保を基本とし、達成年齢によるクラス編成を考慮した対応を考える。

⑤ 運用面での課題が多くあり、業務委託による検討をしなければならぬ。先進地自治体に研修へ出向くなど情報の周知に努め、研究を重ねていきたい。

⑥ まだ年度途中であり、運営物件費が確定していないため、検証には至っていない。

